

講習会名 新潟大学歯学部 主催
にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 新潟県歯科医師会 共催
嚥下内視鏡講習会

日時 平成28年3月13日(日) 午前10時から午後5時

場所 新潟大学歯学部

参加者 (カッコ内はインストラクタ)

講義

井上 誠

1 班

小柳 広和 先生, 丸山 利彦 先生, 高野 隆一 先生, 笠井 郁雄 先生 (辻村, 大口, 田中)

2 班

辻内 実英 先生, 川寄 隆憲 先生, 岡田 朋子 先生, 浅見 浩之 先生 (真柄, 佐藤, 水野)

3 班

北沢 公代 先生, 富樫 久朋 先生, 袖山 敬央 先生 (辻, 神田, 鞍立)

4 班

中野 久 先生, 楯 泰昌 先生, 三浦 孝司 先生, 桑原 秀也 先生 (林, 保田, 小林)

5 班

君 賢司 先生, 内藤 義隆 先生, 永井 正志 先生, 神成 庸二 先生 (酒井, 上村, 河野)

6 班

北沢 敦 先生, 杉田 佳織 先生, 飯島 正 先生 (堀, 設楽, 藤原(茂), 平澤)

見学

道見 登 先生, 吉田 絵理 様, 渡邊 唯 様, 会田 生也 先生

他・大学スタッフ

内藤 薫様 (NICO), 伊藤, 船山, 鈴木, 船山, 藤原 (佳)

タイムスケジュール

10:00 - 10:05 スケジュール説明

10:05 - 11:05 講義

11:15 - 11:30 PENTAX による機器説明

11:30 - 12:00 インストラクタによるデモ

12:00 - 13:10 昼食 (PENTAX による洗浄デモ)

13:10 - 16:10 相互実習

16:10 - 16:50 ケース紹介, アンケート

16:50 - 17:00 総括

概要

本講習会は、新潟県歯科医師会による摂食嚥下治療登録医等養成研修事業の支援を受け、地域開業医への摂食嚥下リハビリテーションの普及、及び、嚥下内視鏡検査の実際の活用例などを紹介する目的で開催された。新潟県歯科医師会からの推薦 18 名（うち当日 1 名欠席）、一般申込み 5 名、受講者計 22 名、見学 4 名の参加者となった。また、インストラクタ補助として、昨年度の VE 講習会参加者で、その後新潟大学医歯学総合病院にて研修を継続されている 6 名の先生方にも参加していただいた。

午前中は新潟大学 井上先生による講義が行われた。この講義では、地域を取り巻く嚥下障害患者をもつ要介護高齢者の現状について触れ、このような嚥下障害に陥る可能性のある高齢者に対し、早期発見、予防を目指したアプローチを、歯科として取り組むことが大切であることが説明された。また、嚥下障害の実態として、嚥下反射の障害だけでなく、認知機能を含む高次脳機能が大きく関わるということが説明され、咀嚼、舌運動、口腔感覚などの口腔機能に対するリハビリテーションの可能性が示された。

次いで、PENTAX 西田様から内視鏡機器の説明があり、その後、各班に分かれてインストラクタによるデモが行われた。昼食時間に PENTAX 吹田様、西田様による機器洗浄のデモが行われた。

午後の相互実習では、3 名ないし 4 名を 1 班、計 6 班に分かれて、インストラクタの指示のもとで嚥下内視鏡の操作法から検査項目に至るまでの相互実習が行われた。基本的な操作方法の確認だけでなく、食形態・姿勢・飲み方を変えるなど、実際の検査・訓練場面を想定した実習となった。また、摂食嚥下機能評価、方法についても説明がなされた。

相互実習後には、新潟大学 井上先生より、施設入居の要介護高齢者に対して嚥下内視鏡検査を実施した症例の紹介があった。施設入居中の経管栄養を施されている要介護高齢者のうち、経管栄養を離脱出来得る嚥下機能をもつ高齢者が一定の割合でいることが示された。このような高齢者を支援するためには、周囲の医療スタッフが嚥下障害やその機能評価方法を理解することが重要であることが説明された。

最後に、アンケートを実施した。その後、参加者のお一人である新潟県歯科医師会理事の永井正志先生より、次年度以降もこの事業を継続すること、また、井上先生より大学病院で研修を希望する先生への支援体制の説明があり終了となった。

平成 27 年度 嚥下内視鏡講習会 (3月13日実施) アンケート① 集計結果

1. 摂食嚥下障害の臨床に関わっていますか.

- a. ある 11名 b. ない 14名
(a. ある の方は2へ b. なし の方は10へ)

2. 2016年3月時点での, 歯科医師の臨床経験年数と摂食嚥下障害の臨床経験年数を教えてください.

- ・歯科医師 a. 20年以上 b. 10年以上 c. 5年以上 d. 2年以上 e. 1年以上 f. 1年未満
 9名 2名 0名 0名 0名 0名
- ・嚥下障害の臨床 a. 10年以上 b. 5年以上 c. 3年以上 d. 2年以上 e. 1年以上 f. 1年未満
 1名 1名 1名 1名 1名 6名

3. どの程度の頻度に関わっていますか.

- a. 毎日 b. 毎週 c. 毎月 d. 年に数回 e. これまでに数回
1名 2名 6名 0名 2名

4. 2016年3月現在, 何名 (のべ数, 月) の摂食嚥下障害患者さんを診ていますか.

- ・のべ数 a. 100名以上 b. 50名以上 c. 30名以上 d. 20名以上 e. 10名以上 f. 10名未満
 1名 1名 0名 0名 0名 5名 (無回答4名)
- ・月別数 a. 10名以上 b. 5名程度 c. 3名程度 d. 1名程度
 1名 2名 1名 6名 (無回答1名)

5. 紹介元を教えてください (複数選択可).

- a. 大学医科 b. 大学歯科 c. 病院医科 d. 病院歯科 e. 開業医科 f. 開業歯科
0名 0名 2名 1名 2名 0名 (無回答3名)
- g. その他 4名 (院内, 介護施設 (2名) 家族, ケアマネ)

6. どのような患者さんを対象とされていますか.

- a. 外来 b. 往診 (病院・診療所) c. 往診 (在宅) d. 往診 (施設)
3名 2名 4名 6名
- e. その他 4名 (院内)

7. どのような疾患に関わっていますか (いましたか).

- a. 発達障害・先天異常 b. 脳血管疾患 c. 神経疾患 d. 頭頸部腫瘍 e. その他
2名 9名 3名 0名 2名

※eを選択した方へ, 具体的に教えてください. (精神疾患, 廃用性症候群)

8. どのような検査を行っていますか.

- a. スクリーニング検査 b. 嚥下内視鏡検査 c. 嚥下造影検査
10名 2名 1名
- d. その他 0名 ()

9. どのような治療を含んでいますか。(複数選択可)

- a. 口腔ケア 11名 b. 間接訓練 9名 c. 直接訓練(食事指導含まず) 4名 d. 食事見守り・指導 4名
- e. その他 0名 () →次は質問11へお願いします.

(1. でb 摂食嚥下障害の臨床に関わっていないと答えた方のみ)

10. 今後摂食嚥下障害の臨床に関わる予定はありますか. もしくは関わりたいと思いますか.

- a. ある 6名 b. ない(関わる意思はある) 6名 c. ない(関わる意思はない) 1名 d. 分からない 1名

11. 多職種カンファレンスなどへの出席をされたことがありますか.

- a. ある 14名 b. ない 9名 c. 分からない 0名

12. その他ご自由な意見をお願いします.

- ・ インストラクタの先生方のご指導で内視鏡実習をして少し自信が持てました. ありがとうございます
- ・ 在宅での摂食指導にどのような最適な方法があるのかを探してみたいと思っています.
- ・ 「食事療法」について詳しく学びたいです.
- ・ 多職種連携について学びたいです.
- ・ 長い1日かと来ましたが, 充実していてあっというまでした. やはり無料は有難いです.
- ・ 必要な分野でありこれをきっかけに今後勉強していきたいと思っています.
- ・ 摂食嚥下障害の研修会があれば勉強していきたいと思っています.
- ・ はじめてVE検査を体験させていただきました. 貴重な経験をさせていただきありがとうございました. 被験者もさせていただきましたが, そんなに苦しくないことがわかりました. 久しぶりの大学で懐かしかった. 反面, すごく変化していてびっくりした.

研修会風景







アンケート② 結果

1, ア	2,	3, エ	4, イ	5, 口蓋帆帳筋
6, 反回	7, 輪状甲状	8, イ	9, 3	10, 30
11, 先行	12, 準備	13, ア	14, 後下小脳	15, カーテン
16, ア	17, ア	18, イ	19, ウ	20, イ
21, イ	22, c, d	23, b	24, d	25, c, e
26, d, e	27, b, e	28, d, e	29, a	30, e

研修会参加経験あり 先生方 平均点 22.00±4.3 (最高点 26/29 点)

研修会参加経験なし 先生方 平均点 12.25±3.5 (最高点 19/29 点)

正答率 (%)

